

編 集 後 記

三月。卒園・入学を控えた子どもたちの心の中には、どのような模様が描かれているのでしょうか。

我が家でもこの年末、長かった一人っ子生活に別れを告げる時を迎えた娘が、期待と同時に様々な不安を抱えて毎日を過ごしています。兄弟を待ち望んでいただけに、この間の喜びと張り切り様は大変なものでした。でもだんだんとその現実が迫ってくるにつけ、それは今の生活を失うことにもなることに気がき始めました。折りに触れては「こうやって二人で（三人で）ゝできるのも、あと何回あるのかな」としみじみと言うようになってきました。母が入院

する二週間という時間への不安は最も大きく、十二月に入り、カレンダーを一枚めくると、いつの間にか書いたのでしょうか、そこには大きな字で「ママにゆういん（たぶん）」という書き込みがありました。

新しい状況に直面する前の漠然とした不安は、傍らにいる者にも分かりにくく、支えにくいものです。でもやはり、支えようとする人がいてこそ、その状況を持ちこたえ、乗り越えていけるのでしょう。今月号を読んでみると、そのような大人の姿勢が、共通して垣間見られ、励まされている自分に気がきます。

「私大丈夫だよ。頑張るから」毅然とした態度でそう言うようになったこの数日の娘の姿は、本誌に執筆して下さる方々のおかけのような気がします。

(田)

幼 児 の 教 育

第九十六巻 第三号

(一九九七年三月号)

定価四五〇円(本体四三七円)

発行 平成九年三月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112東京都文京区大塚二一―一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108東京都港区三田五一―二―一

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113東京都文京区本駒込

六一―四一九

☎〇三―三五三九五―六六一三(営業)

☎〇三―三五三九五―六六〇四(編集)

振替 〇〇―一九〇―二一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレール館にお願いします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。